

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

農村活性化センター製造拠点整備による生産性革命

2 地域再生計画の作成主体の名称

静岡県駿東郡小山町

3 地域再生計画の区域

静岡県駿東郡小山町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

小山町は富士山系・丹沢山系の豊富な水資源に基づく水稲作が盛んな地域であり、担い手への面的集積は進みつつあるものの、依然として小規模生産者が多い上に農業従事者の高齢化が進行しており、次代を担う農業者の育成や効率的で生産性の高い農業の推進、6次産業化が求められている。このような中、農村活性化センターは地元農産物を活用した加工施設として平成17年度に整備され、地元産のうるち米・もち米を使用した弁当や総菜類を中心に製造販売を続けてきたが、施設の総販売額は最大でも年間2,500万円程度であった。

平成28年度から指定管理制度により民間活力を注入し、製造能力の増強やベーカリー部門の新設等を実施し、製造・販売額ともに4,000万円程度に増加したが、現状施設が有する設備や生産能力では、道の駅での販売や仕出し受注への対応等が限界となっている。

また地域の特産品として年々需要が増している「餅」や、その他加工品類についても需要に答えきれていない上、ほぼすべての商品が長期保存に適さないため一般流通販売に適した「土産物」の商品化が達成されておらず、都市部への発送・販売に適した、町のシンボルとなるような特産品の開発・販売が暦年の課題となっている。

4-2 地方創生として目指す将来像

小山町総合計画では、高品質な地場産の米やもち米等を最大限に活用した特産品を支援し、6次産業化の取り組みを充実させることを掲げており、この具体策として、米粉を使用した焼菓子やもち米を使用した和菓子など、高品質で付加価値の高

い商品の開発・製造が可能な施設を整備する。

また隣接する道の駅ふじおやまは平成 29 年度において観光交流拠点となるレストランの増築リニューアルを実施中であり、団体客やインバウンド利用の促進が見込まれる中、来場者のニーズに応える新たな商品の開発・加工・販売を両施設の指定管理者が一体的に行うことにより、さらなる活性化や自立性の向上を図る。

こうした施策を、地域農業の拠点施設である農村活性化センターにおいて実施することで、6次産業化の先駆的な事例として地域内の生産者や農業従事者の意欲を喚起するなど波及効果が見込まれ、後続の事業展開や商工業者との連携などの好循環を生み出すことが期待できるとともに、コメ政策が「生産調整から自由化へ」シフトする中、自ら企画し、実行する「儲かる農業」による地方創生の実現を目指す。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	H33 年度 増加分 4 年目	H34 年度 増加分 5 年目	KPI 増加分 の累計
新商品の 売上増加額 (千円)	0	0	3,000	2,000	2,000	2,000	9,000
新商品の開発 数 (点)	0	0	10	5	5	5	25
新規雇用者数 (人)	0	0	2	1	1	1	5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

小山町総合計画に掲げる6次産業化の取り組みを充実させるための拠点施設として、農村活性化センターの製造機能を充実させ、地域資源の活用と農業振興を促進する。地域農業の基幹である米やもち米を活用する菓子製造室を新たに整備するとともに、現在不足しているストックヤードの増築と既存厨房の改築により生産性を更に向上させ、製造品目・数量の大幅増加を図る。施設での直接販売のみならず、隣接する道の駅での土産物販売・贈答品としての利用やネット販売等を視野に入れ、保存・流通に適した製造機能を有する設備を整備する。

また、活性化センターの機能と集落支援員制度を活用し、地場産農産物を集荷し、町内小中学校へ配送するスキームを構築するとともに、生産者を組織化して

需給面でのコーディネートを実施し、野菜類の計画生産と大規模化を促進する。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007（拠点整備）】

① 事業主体

静岡県駿東郡小山町

② 事業の名称

農村活性化センター特産品製造拠点整備事業

③ 事業の内容

農村活性化センターに、新たな特産品の拠点施設として菓子製造室を整備するとともに、現在不足しているストックヤードの増設と既存厨房の改築により生産性を向上させ、製造能力の大幅増加を図る。施設での直接販売のみならず、土産物・贈答品としての利用やネット販売等を視野に入れ、保存・流通に適した製造機能を有する設備を整備する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【官民協働】

基礎となる施設整備は町が実施し、地元商工業者の出資による指定管理者が民間のノウハウを注入して運営を行うことにより収益性を高める。農業者による原材料生産、指定管理者による加工・販売、観光事業者による商品の販促等を円滑に実施できるよう、町農商工連携協議会を活用し、体制づくりを進める。

【政策間連携】

農商工連携や6次産業化の先導的役割を担う拠点施設として、農業振興施策を促進するとともに、新機軸の商品展開により、地域商業再生のモデルケースとする。

【地域間連携】

県境に位置する立地性と大きなストックヤードを活かし、静岡県東部・神奈川県西部・山梨県東南部からの集荷機能を充実させ、これらの加工・販売を実現することにより「富士山麓エリア」の広域的な発展に寄与する。

【自立性】

農村活性化センターの販売額は平成 29 年度見込み約 4,000 万円程度であり指定管理者によって順調に推移しているが、本事業における機能の拡大によりさらに 900 万円程度の増加が期待できる。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	H33 年度 増加分 4 年目	H34 年度 増加分 5 年目	KPI 増加分 の累計
新商品の 売上増加額 (千円)	0	0	3,000	2,000	2,000	2,000	9,000
新商品の開発 数 (点)	0	0	10	5	5	5	25
新規雇用者数 (人)	0	0	2	1	1	1	5

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

小山町が指定管理者から目標毎の数値及び事業の実施状況の報告を受けて数値目標の達成状況の確認及び事業効果の分析を行い、産官学金労言により構成する「小山町まち・ひと・しごと創生会議」で評価を行う。

【外部組織の参画者】

区長会長他 8 名、商工会長、企業懇話会長、御殿場農協営農部長、観光協会会長、沼津公共職業安定所御殿場出張所長、小山町議会議長、校長会長、県立小山高校長、国民政策金融公庫沼津支店長、静岡銀行御殿場支店長、スルガ銀行小山支店長、沼津信用金庫小山支店長、北駿地区労働者福祉協議会事務局長、静岡新聞・静岡放送取締役東部総局長

【検証結果の公表の方法】

毎年 9 月議会において報告するとともに、町ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 41,620 千円

- ⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成35年3月31日（5ヵ年度）

- ⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

- (1) 学校給食地場産品納品事業

事業概要：活性化センターの機能と集落支援員制度を活用し、地場産農産物を集荷し、町内小中学校へ配送するスキームを構築するとともに、生産者を組織化して需給面でのコーディネートを実施し、野菜類の計画生産と大規模化を促進する。

実施主体：静岡県駿東郡小山町

事業期間：平成30年度～

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成35年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

【検証方法】

小山町が指定管理者から目標毎の数値及び事業の実施状況の報告を受けて数値目標の達成状況の確認及び事業効果の分析を行い、産官学金労言により構成する「小山町まち・ひと・しごと創生会議」で評価を行う。

【外部組織の参画者】

区長会長他8名、商工会長、企業懇話会長、御殿場農協営農部長、観光協会長、沼津公共職業安定所御殿場出張所長、小山町議会議長、校長会長、

県立小山高校長、国民政策金融公庫沼津支店長、静岡銀行御殿場支店長、スルガ銀行小山支店長、沼津信用金庫小山支店長、北駿地区労働者福祉協議会事務局長、静岡新聞・静岡放送取締役東部総局長

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	H33 年度 増加分 4 年目	H34 年度 増加分 5 年目	KPI 増加分 の累計
新商品の 売上増加額 (千円)	0	0	3,000	2,000	2,000	2,000	9,000
新商品の開発 数 (点)	0	0	10	5	5	5	25
新規雇用者数 (人)	0	0	2	1	1	1	5

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年9月議会において報告するとともに、町ホームページで公表する。